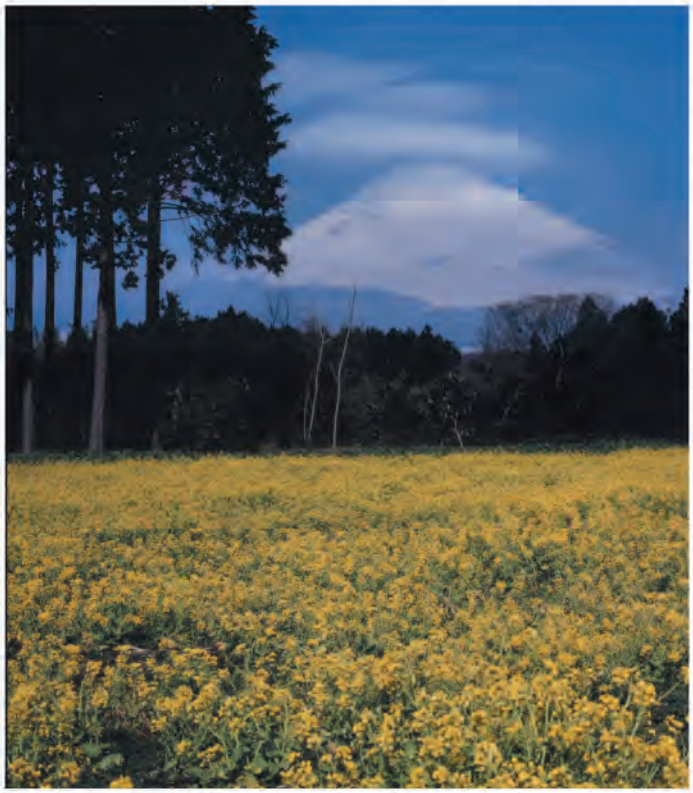
いしずえ

沼津建設業協会
広報誌

発行・編集
社団法人 沼津建設業協会

広報委員会
沼津市御幸町17－12
電話〈055〉932－8311

発行日　隔月1日



第17回写真コンクール　佳作「春うらら」三井　剛（読者）

平成十七年度を向え、一か月が過ぎました。

それぞれの場所で、それぞれの立場で、新しい環境、従来の環境……もう慣れたところでしょうか。

近年、色々なところで、地球の環境に対する配慮が行われてきています。

地球環境の悪化にて、異常気象や、地球の砂漠化など、様々の事が、起こっています。

世界各国が、環境への取組を始め出している中で、今大阪万国博覧会以来の博覧会が、名古屋にて開催されています。

その名も〝愛、地球博〟皆さんも一度は会場に出向くのではないかと思います。

そこで、今回の博覧会の概要を少し調べて見ました。

（名称）正式名称
２００５年日本国際博覧会
略称　愛知万博
愛称　愛・地球博
（テーマ）自然の叡智
（サブテーマ）
宇宙、生命と情報
人生の〝わざ〟と知恵
循環型社会

愛知万博では、サブテーマの中の循環型社会目指して、メインテーマの『自然の叡智』を、サブテーマに『循環型社会』を揚げた中で、会場も、環境に配慮した作りにしてあり、交通手段も環境負荷の少ない新エネルギーを使い、楽しみながら環境を学べる様に、配慮がされていると紹介があります。

又、博覧会協会では環境方針を定めて、環境に対する取組を、配慮推進しているそうです。

その取り組みの七つとは、
一、環境影響評価について
二、自然環境に配慮した会場づくり
三、環境先進技術
四、廃棄物などの消滅や再利用
五、環境負荷の少ない交通手段
六、自然とのふれあい、環境学習
七、関係者の環境配慮に関する取り組みの促進

その他として
一、環境影響評価の履歴
二、環境情報システム
三、万博エコクラブ

以上の方針をおいて、愛知万博は環境配慮活動を行っているのだそうです。

又、万博にテーマの一つとして、四つの柱を挙げています。その四つとは、
一、環境に配慮したエキスポ
二、地球大交流を目指すエキスポ
三、市民が参加するエキスポ
四、ＩＴ時代のエキスポ

この四つです。環境の配慮は、科学技術を通し生命、宇宙、人間の原点である、衣食住など自然との調和を考える。

地球大交流は、世界各地の文化、文明の多様性を継承し地球規模で対話を実現する。

市民参加とは、世界各国の人々が、地球市民となり積極的に参加体験をする。

ＩＴ時代とは、人・モノ・情報の交流を地球規模で活性化させ、デジタル情報技術の役割先端のＩＴ実験場として社会・産業構造の活性化体験する事だそうです。

我々は、地球環境に接する事の多い仕事をしています、愛知博に行き、私たちの仕事が、もっと地球に優しく出来るかを感じて見たいものです。

野帳　愛知万博

(株)河野建設　河野　一郎

未来に向けて

第64回

最近の建設業の問題点

1　書類の簡素化は何処へ行った？

かつて現場代理人や主任（監理）技術者が毎晩夜遅くまで書類の整理に追われ、工期末になると労基法も無視の勤務状態が続く中で、発注者がようやく重い腰をあげ「提出書類の簡素化」なる政策が打ち出された。しかし所謂「適正化法」施行以来、この「簡素化」政策が大幅に後退している。過渡期の時代ニーズという面もあろうが、それでなくても負担の多い現場担当者の負担はますます大きくなっている。「必要な書類を必要な範囲で」作成、提出、出来るよう発注者と業界が真剣に「必要の範囲」について突合せをする時期が来ている。現場担当者の書類作成に裂かれる時間があまりにも膨大すぎる。個人的にいえば、「休日作業届」や「工事記録簿」なる書類が全ての工事に必要とも思われない。業界からの提案が必要であろう。

2　「価格」は何処へ行った？

過渡期の社会にあっては、旧来のシステムや価値観と新しいシステムや価値観が混在し、「あるべきシステムや価値」に向かって胎動を繰り返す中で、行きつ戻りつしながらより良い方法を模索するのが常だ。この過程では、将来に残すべきもの（精神、技術、価値観など）が吟味されずに遺棄されたり、つまらぬシステムや価値観が過剰評価されたりすることも良くあることだ。この国の政治があるべき国の姿を描けぬから、この社会や産業（特に公共工事に係る部分の建設業）があるべき姿を描けないのもむべなるかなの感があるが、公共工事をめぐる「価格」もここ数年迷走を続けている。

「安ければよい」という軽率な極論を席巻する時代にあって、少数ながら「本当にそれでいいのか？」という声が聞こえ出した。

今こそ、「価格」の中心理念とは何か？を業界がまとめる時期に来ていると思う。

「安ければいい」というプラグマチズムには「人間が最高の価値」という視点がまったく欠如している。

「当たり前に働く者が当たり前に暮らせる」価格によって建設業が営まれなければ、崇高な法も理念も空疎な題目に過ぎない。

それでなくたって建設業者は安い賃金で働き過ぎだ。

3　工期は本当に適正か？

「甲乙対等」な筈の契約で、「工期」は予め発注者が決めて契約が為される。発注者側にも地元住民との約束事など斟酌すべき理由もあろうが、例年下半期発注の工事は概ね工期不足の感がある。

週休2日制が建前上定着した日本社会にあって、晴れた土曜日に現場が休工出来るこ となど殆どない。

雨天の問題もあろうが、工期不足には地域住民と工事施工のコンセンサスを取るのに時間がかかるなど、もっと時代的な背景があると思う。公共工事を喜んで迎える地域が皆無になった現在では、早く工事を切り上げるというニーズも当然あるが、発注者側の技術力の低下（指示が出来ない、指示に時間が掛かり過ぎる）等が原因の問題もある。

業界人は格別週休2日を望むわけでもないと個人的には感じている。ただ、利益率の低下に悩まされる現場予算の中で適正な利益が見越せる「経済速度」を選択したいだけなのだ。「バナナ曲線」を持ち出すまでもなく「突貫工事」は当然余分な出費も掛かるし、労災の危険も増す。何よりの品質の低下を引き起こすから極力これを避けるべきである。

今の工期に2～3割増やした工期であればもう少しゆとりも生まれるのではないかと思う。

特別寄稿

「水の惑星」生命の営みのある地球環境を考える(54)

世界の灌漑用地下水が枯渇の危機にある　その④

環境カウンセラー　保坂貞治

アメリカでは幾つかの重要な農業地帯で帯水層が過剰に揚水されている。カリフォルニアの年間地下水使用料の15%に相当する年間16億㎥が過剰に汲み上げられている。その2/3はアメリカ国内の果物、野菜の半分を供給するセントラルヴァレーでの揚水である。しかし、それ以上に深刻なのはオガララ帯水層のケースである。オガララ帯水層の南部では降水による水の補給が殆ど無く、地下水を汲み上げれば必ず地下水量は減少する。1999年時点で年120億㎥の地下水が汲み上げられている。99年までの総揚水量は3250億㎥と推定している。これはコロラド川の18本分の年間流量に匹敵する大量の水である。この2/3以上がテキサス州のハイプレーンズで使用されている。地下水位の低下と揚水コストの上昇に加え、農作物の低価額に農民の多くは灌漑農業に見切りをつけはじめている。78年ピーク時には、オガララ帯水層の水を頼りに灌漑農業を行っていた畑は、コロラド州、カンザス州、ネブラスカ州、ニューメキシコ州、オクラホマ州、テキサス州で520万haに及んだが、それから10年も経たないうちに20%減少して420万haになった。80年代半ばに行われた同地域の長期研究ではピーク時の灌漑地の40%以上が2020年迄に灌漑農業を止めるだろうと予測している。それが現実になると今後20年間で120万haの農地が乾燥地農業に転換するか放棄されることになる。食料生産に大きな打撃となる。

(5) 砂漠農業

めったに雨の降らない北アフリカやアラビア半島では、多くの国が化石帯水層に依存した農業が行われている。サウジアラビアは、水量約19㎦の幾つかの深い帯水層の上に位置している。オガララ帯水層の半分よりやや多い量である。1970年代のOPEC石油輸出国機構の石油禁輸措置後、サウジアラビアは地下水を大規模に汲み上げ始めた。政府は石油禁輸の報復として穀物の禁輸措置がとられることを恐れ、砂漠での大規模な小麦生産を奨励し穀物を自給する大がかりな計画に着手した。政府は土地、機械、灌漑用水に多額の補助金を出した。また、世界市場価額の数倍の値段で農民から穀物を買い上げた。穀物の年間生産高は70年代半ばの僅か数千トンから94年には500万トンのピーク値に達した。当時のサウジアラビアの水の需要量は年間200億㎥に近く、その85%は再生不可能な地下水を揚水したのであった。政府のこうした対応は小麦の国内需要を上回り、一時期小麦の輸出国になった。しかし、小麦の自給は長く続かず国家歳入が減少して、ファハド国王政府が支出を引きしめざるを得なくなり農業生産は行き詰まった。二年もたたないうちにサウジアラビアの穀物生産は60%も減少し190万トンに落ち、他方人口が1200万人から2000万人になり穀物輸入国となった。そればかりか20年余りの砂漠農業で穀物を1トン生産するために3000トンの水を消費して年間170億㎥の水不足を生じてしまった。このペースでは2040年あるいはもっと早い時期に地下水が完全に干上がってしまうであろうと予測されている。

近年は地下水の年間使用量が1980年代半ばまで落ちたが、それでも年間60億㎥近くの水不足に直面している。

エジプトからモロッコまでアフリカ北部に横一列に並ぶ国々も雨水による補充がない化石帯水層に大きく依存している。推定揚水使用量は年間100億㎥に達すると推定されている。その40%近くはいま巨大な水利計画を進めているリビアで使用されている。

古雑誌の随筆（その三十九）

鉄道は、道路より有利な、交通機関であるか

後藤貞一

雑誌「道路」一九七〇・八
「鉄道は、道路より有利な、交通機関であるか」(抄)
建設省道路局、道路経済調査室、平野興二・六波羅昭より

はじめに

今、世界的に鉄道に対する再評価が行われている。

例えば、アメリカでは、「高速大量輸送機関」の研究が盛んで「高速陸上輸送機関開発法」が制定され（一九六五）ボストン、ニューヨーク、ワシントンを結ぶ、北東回廊における、在来鉄道の高速化及び、超高速陸上輸送機関（HGST）としてのグライドウェイ、或は真空チューブ列車の調査研究が活発である。

欧州では、在来鉄道の高速化、フランスのエアロトロン、イギリスのホバートレイン、などのHGSTの開発が盛んであり、都市交通対策としても、大量輸送機関として、地下鉄鋼の設備など、鉄道建設熱が盛んである。

この理由は二つある。

一つは、激増する自動車交通への反省である。個人の乗物としての自動車は、迅速性、的確性、融通性、機動性、快適性に優れた乗り物として魅力があるため、モーターリゼーションの進展はとめどがない。いくら道路を整備しても、自動車の増加に追いつけない。また、交通渋滞、交通事故、大気汚染、騒音などが、社会問題化している。

もう一つは、鉄道が大量輸送機関として優れ、人命の損傷が少なく、大気汚染や騒音などの心配が無く、自動車のマイナス面を持たないから、鉄道に切り換えようというものである。

日本では、東海道新幹線の成功を機に、リニアモーター方式による、東海道第二新幹線の建設や、全国新幹線鉄道整備。東京や大阪の高速鉄道網計画、或いは地下鉄鋼の整備拡充が叫ばれている。

イコールフッティング

近年の輸送市場は、鉄道輸送の伸び悩みと、自動車輸送の爆発的増加であり、昭和三十三年以降の十年間で、自動車輸送は、脇役から主役へ、大きく成長した。これに対して輸送市場の競争条件の不均衡が、この不合理な輸送構造変化をもたらしたとする考え方がイコールフッティング論である。

国民経済的に、最も合理的な、輸送分担を実現しようとすれば、各輸送機関が、その特性を発揮しつつ、公正かつ自由な競争によって、分担関係を実現すべきである。

国鉄財政再建推進会議では、競争条件の不均衡な例として、

一、各種公共負担の不均衡
二、ローカル線負担
三、各種基礎施設費の負担
四、運賃の弾力的運用の欠如
五、事業活動範囲の制限

などを挙げている。

高速道路と新幹線

道路と鉄道との年間総費用を比較すると、

施設費は、三、九〇〇億円対、三、六〇〇億円。

土地代は、八〇〇億円と、三六〇億円。

運営費は、九〇〇億円と、六、〇〇〇億円。

総費用では、六、〇〇〇億円と、一兆円となり、鉄道が高くなっている。

利用者負担金は、四、三〇〇億円と七、六〇〇億円で、それぞれ全費用の四分の三に相当している。

東名高速道路と、東海道新幹線についての試算では、

キロ当たりの建設費は、道路が、八・五億円／キロに対し、鉄道は十二億円／キロである。

一日当たりの輸送人員では、道路が六万人に対し、新幹線は十三万人といわれる。

利用者一人当たりの建設費は、道路が一万四千円／人に対し鉄道は、九千円／人となるが、道路は貨物輸送の比率が高い（四二%）ので、旅客に限定すれば、両者共に九千円／人という試算もある。

都市の道路

道路を建設すれば、交通混雑は解消し、排気ガス、騒音、交通事故などの交通公害が、解消できるか?と言えば、答えは必ずしもYESではない。

道路の最高整備水準は何か?自動車の増加は、どこまで許されるか?自動車の改良や、開発は進んでいるのか?といった自動車交通に対する課題は多いが、これをもって道路不要論の論拠とするのは当たらない。

むすび

交通手段は、道路、鉄道、航空、船舶などが、競争関係または、代替関係にあるのではなく、それぞれの役割と、特性に応じ、相互に補完的関係にあるべきで、各々が分担すべき守備範囲、機能配分について、国土計画、都市計画、交通政策、財政経済政策などを含めた、総合的な検討が、なされなければならない。そのためには、計画的調査研究が必要であり、確固たる交通政策の樹立と、国民的合意が重要で、各界からの広汎な議論と提案がなされてしかるべきであると考える。

静岡探検倶楽部

第二十九回　スキー場から気軽に山岳展望…長野県富士見町入笠山

文　井下　秀文

入笠山の大展望に圧倒されてきた。

長野県富士見町の入笠山は標高一九九五m。山の斜面の大部分は富士見パノラマスキー場である。ゴンドラリフトに乗ってしまえば大した労力もなく山頂にアプローチでき、そして三六〇度のパノラマが満喫できてしまう。

それこそ諏訪湖～八ヶ岳～富士山～甲斐駒ヶ岳～南アルプス～御嶽山～木曽駒ヶ岳～乗鞍岳～北アルプスと、周囲の地形構成が目に見えて理解できる。

これまで私は、入笠山なんて所詮はスキー場の山じゃないかと敬遠していた。なにしろゴンドラで標高一七七〇mまで運ばれてしまう。そこから高低差二〇〇mのハイキングなので、山頂までは一時間もかからないだろう。二日酔いでも行ける、お手軽山行の扱いである。前日の寒中キャンプで飲んだ勢いで、この入笠山歩きが決まった。

時は三月下旬。三月はまだ春なんかじゃなくて、冬の終わり頃なのである。寒中キャンプの夜はマイナス十度まで下がった。山は当然雪山なのであり、相応の技術と心構えは必要だ。二日酔いでもそこのところはしっかりしなくてはいけない。富士見パノラマスキー場はスキーヤーで賑わっていた。ゴンドラ乗り場で登山者向けの往復チケットを買う。

猛然と滑ってくるスキーヤーに押し倒されないように注意しながら乗り場へ歩を進める。八人乗りの丸箱型ゴンドラに乗り込み、急な斜面をすべり上がるように一定速度で空中浮上する。ぐんぐん高度を増し、背後の眺めが開けてくる。

約一〇分で山頂駅。こんなに簡単に高度をかせいでしまっていいものかと思う。

賑わうスキー場から横に別れ、林を抜けると林道を横切る。無雪期にはクルマでも来れてしまうのだ。すぐに入笠湿原となる。夏場は植物の宝庫だそうだが、木道は雪に埋もれてただの雪原だ。緩やかな凹形が光を集め、曇り空でも目に眩しい。

湿原の先にマナスル荘という山小屋があり、その向かいには樹木のない雪の斜面がある。元スキー場だそうだ。これの端を登る。落葉松林の緩い斜面だ。山頂が近づくにつれ勾配が急になり、転げそうな地形だ。いい加減滑りそうでこわいが、急に植生が途絶え、平らな山頂に着いた。日が当たるためか強風のためか、雪がはげている。山頂に着いた瞬間人々は歓声をあげる。声をださずにいられない雄大な眺めなのだ。登った山や憧れの山、無名な山、山の向こうはなにか？眺めながらいろいろ思いを馳せる。

山上で風に吹かれながら熱い体を休めるが、やはり凍てつくような温度なので、すぐ寒くなる。直下の樹林に逃げ込んで昼食。

帰りはせっかくの斜面を尻で滑り降りようと幾度か試みた。しゃがんでのけぞってもうまく滑らない。いろいろ試したがプラ板のような物を敷かなければ駄目みたい。結局尻にアザを作った労力は実らなかった。

▲山頂駅。雪山歩き道具を装着。

▲山頂から八ヶ岳方面を見る。贅沢な眺め。

▲帰りは尻すべりを試す。尻は痛いが楽しい。

「からだづくりの教室」便り

宮本悦子(11)

膝裏をのばして若返る

真っすぐに（そのつもりで）立っていただきます。

その姿勢を誰かによく観察してもらいましょう。

頭部が首のつけ根より前に出ていて、肩が丸く前に巻き込んで、背中が猫背気味に丸くなり、お尻が下がっていて、膝が前に出て『くの字』に曲がり、足首が弱そうで、足底が不安定、腕は真横ではなく少し前にいっている。

本人はそう思っていなくてもこういう姿勢の人は意外に多いのです。とても疲れ易くスタミナ不足も伝わってきます。真っ直ぐでいい姿勢をしているのに、と思っていてもよ～く観察するといろいろなことがわかってきます。

膝裏をぐんと伸ばすことでこのような体がとても変わるのでやってみましょう。

方法はいろいろありますがとても簡単で効果があるものを紹介します。

足を前に伸ばして座ります。

足首を90°に立てて保ちます。

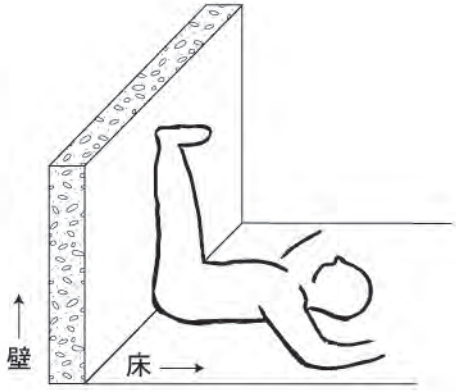
膝がうかないように気をつけます。膝の裏側に掌を差し込み簡単に入ってしまうようではかなりういています。

踵をぐいぐいと突き出してゆくと膝裏が伸びてゆきます。

続いてそのまま体を前に倒し手で足の指を押さえてしばらく耐えます。膝裏から太腿の裏、ふくらはぎ、アキレス腱まで足全体に（ちょっと痛みもありますが）気持ち良く伸びてゆきます。

手を足に向けて伸ばす時には腰を使い腰から上半身を倒すことが大事です。

腰が動くことで手が楽に足まで届くようにもなります。



今度は壁の前に行きます。

足を壁面にぴったりつけて膝を伸ばしてお尻から足全部が壁に吸い着いたようにします。ちょっと大変な場合はお尻を壁から少し離してから始め、慣れてきたら壁に近ずけてゆきます。

足を上げることで血流も大きく変わります。

立ちあがったらもう一度姿勢をよく見てもらいましょう。

始めの立ち姿とはずいぶん違う感じになります。

膝裏が伸びると足首がしっかりした感じになり、立っているのも楽です。お尻もひきしまり持ち上がります。

背中も気持ち良く伸びて胸に厚みができるのです。すると呼吸がとても楽になり深く入ってゆくことに気がつくでしょう。

膝裏は年令を表すとも言われる位の場所です。いろいろな状況にさらされて縮むことが多いのです。いつもいつも伸ばして楽にすることは膝だけでなく、全身に影響のあることとおわかりになったと思います。

見えにくいところですが、これからは一層大事にしていって下さい。

御厨(みくりや)の古今(御殿場方面)

勝間田　秀彦

天正十八年、豊臣秀吉が小田原の北条氏を滅ぼし、沼津城に秀吉の家来の中村一氏が城主となる。駿東及び御厨地方の代官として内膳正横田村詮が治めるように成った。後に稲葉正勝が小田原城主となった。御厨地方はその支配下に入った。稲葉氏の後に大久保氏が城主と成る。御厨四十二ヶ村、(現小山町)を入て六十二ヶ村と成った。

御厨(みくりや)……広辞苑による

①神饌を調達する属舎、御供所。

②古代、中世皇族の供御や神社所属の領饌の料を献納した、皇室神社所属の領地、古代末には荘園の一種となる、神領御厨。

この御厨は各地にもあると云はれている。御殿場地方の御厨は、伊勢神宮の神領と云われており、御殿場市二枚橋には伊勢御師と云はれる家があった。

御師(おし)

①祈祷に従う身分の低い神職または神僧。

②伊勢神宮職で年末に暦や御札を配り、参詣者の案内や宿泊を業とした者。伊勢ではオシンと云う。

四十二ヶ村にはそれぞれ、村役人として、名主、組頭、百姓代を置いて、役所よりの通達及年貢の納め、助郷(出役)諸物資の納入等が順調に行くようにしている。

村造が始まると、心の寄所として神社主として山之神社、仏閣を造り集会所として村人の団結をはかって居た。また村には五人組制度があり、隣近所で、五人づつ集会をつくる。全ての行為を連帯責任としていた。

百姓は生かさず、殺さずの藩の政治であった。百姓があまり生活が善くなると仕事に精をださなくなり怠けてしまう、またあまり年貢等で苦しめると、仕事に精を出さなくなると云うことであった。

この頃に、現小山町・御殿場・裾野・沼津・駿東郡の間に七筋組合と云う制度があった。七十四ヶ村で組合が出来ていて、広大な富士山麓の利権にかか張る諸問題が多く起こっている。

七筋組合　北方小山町より坂下組　十ヶ村　北筋組　十一ヶ村　中筋組合　十一ヶ村　南筋組合　十一ヶ村　原方組合　十三ヶ村　八ヶ郷組合　八ヶ村　下郷組合　十ヶ村

これらの組合より、助郷が行なはれていた。道路の普請、橋の掛け変え、小田原城の修理・整備、関所、矢倉沢・箱根仙石原の修理・普請等に人足馬・物資の供給などが強制された。

東海道線　御殿場停車場

明治二十二年、鉄道が開通されることになった。東海道本線である。東京新橋を起点として、国府津・松田・山北・御殿場・沼津・静岡まで、各停車場は決まったが、御殿場停車場は決まらなかった。当時、御殿場停車場は旧御殿場に設立が予定していた。この地は早くから開けていた。東京方面より小田原に出て足柄山を下って御厨町(御殿場)に下った。ここに早くより、郷州商人が多く進出し、酒・味噌・醤油等の製造をし、また諸物資販売を始めたので、人の出いりが多く、警察署・銀行・映画館・郵便局も出来た。下宿には遊郭等も出来た。街道の宿場として賑わった。

停車場設置の事で賛否が激論したと云はれている。反対者は鉄道が引かれ、停車場が出来るとまず外来者が多く、町の人気が悪く成る、流行り病が流行すると云う事だった。賛成する人は将来の事を考えて設置すべきだと、何日も激論を交わしたと云う。反対者が多く中止となった。隣の新橋村に決まった。

新橋村は当時、戸数・人口も少なく、土地も広さがあった。新橋村では仕方なく承諾したと云う。現在地に開設された。開発、発展は新橋村になった。富士登山東口も開かれ、駅前には多くの旅館や商店が軒を並べる様に成った。郵便局や映画館、銀行なども移転されてきた。

明治二十九年、広大な大野原が旧陸軍の演習場となり、板妻・滝ヶ原に兵舎も出来て停車場西側に、軍隊ホームが出来た。軍隊・大砲・馬車・物資の搬入が盛んに成った。軍隊に品物を納入する御用商人も多く成って、地方で出来た農家の野菜や穀物も軍隊納めが盛んに成って、近隣の村むらにも大きな利益となった。新橋村は大きく成って御殿場の中心となっていた。

御殿場線は、東海道本線とよばれ、特急列車、つばめ・ふじ・さくらなどの展望車などがついた列車が走った。近村より見物する人もあった。

〈筆者略歴〉勝間田秀彦氏
御殿場市印野在住
御殿場市図書館古文書を読む会会長
御殿場文化財審議委員長

言いたい放題

新しい機種が出る度に買い替えたくなる携帯電話。様々な機能を兼ね備え、デザイン性にも富んでいる。その利便性から最近では小さな子供からお年寄りまで、携帯を使用している年齢層も幅広い。

皆さんは十年程前の携帯を覚えているでしょうか？当時携帯電話と称されていたものは、自宅の電話よりも大きく持ち歩くにも肩に掛けるという、何とも言えないスタイルこれで「携帯」と言えるのだろうか？疑問すら抱いていた。

しかし、ここ数年での急激な携帯人口増加と比例し、機種の進化も著しいものとなった。新しいものはカメラ付きなんてまるで当たり前のようだし、メーカーによっては特に特定の契約もなしに海外通話も出来る。インターネットに接続はもちろんの事、近頃はテレビ付きのものも多く見られるようになった。

だが、こういった様々な機能を全て使っている人が世の中どれだけいるのだろうか？恐らく、莫大な携帯人口の中のごく限られた人だけではないだろうか。新しい機種に変更する時は、なるべく多くの機能が付いていて、且つデザインの気に入ったものを選ぶ。「これだけ色々な機能を兼ね備えていれば便利に違いない!!」と思い、意気込んでみたものの、実際生活していく上で必要なのは結局いつもと同じ機能だけ…なんていう事もしばしば。次の機種に変更するまで一度も使った事がない機能も多い。こういった経験をしている方は結構多いのではないだろうか？

考えられるのは、大きく二つ。一つは「使う人にとって不必要な機能」という事。あれば便利そう…と思っていた機能が実はまったく自分には不必要だったりする。その結果、最後まで活用しないまま変更してしまう。二つ目は、「携帯の進化の方が早すぎて着いていけない」という事がある。事実、自分の携帯の機能を全て使いこなす人はそれほどいない。

私の場合は、そのどちらにも当て嵌っているので質が悪い。きっとこれから先は、自分で自分の許容範囲の機能をチョイスできる時代もやって来ると思うが、私が機能を使いこなせる日が先か、そちらが先なのかは当分の謎だ…。

暖冬、地球温暖化。そう騒がれて久しいのに、今年は雪の多い年だった。御殿場、小山では、毎週のように雪が降り、東北地方では記録的な積雪を観測した地域もあったほどだ。

この記録的な大雪を気象庁は予測していただろうか。2002年の『猛暑』、2003年の『冷夏』。気象庁はこのことに対応できていないように感じる。

では気象庁の予報は外れているのだろうか。いや、そうではない。観測システムの高度化、全国各地の気象台、気象衛星等のデータを基に予報を出し、今日(こんにち)の予報の制度は、ここ二十年80%を超えている。ただ、『異常気象』の予報が出来ていないのである。

日本の天気予報は、気象庁が行い、民間が予報を出すことが出来ないとされている。異常気象を予測し、天気予報の精度を上げる為には、米国のように民間企業を参入させることも必要ではないだろうか。そうすれば、自然を相手に仕事している私達は、その予報を利用して、長期的プランで対応していけるのではないかと思う。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

毎年仕事が一段落する四月五月は、会社から早く帰宅し、夕食を取りながらナイター中継を見るのが日課となっている。

昨年は近鉄の合併問題からスタートした球界再編問題の中で、一時期は10球団での1リーグ制へ移行となりかかったが、選手会のストライキ突入や古田選手会会長等の頑張りの結果、50年振りの新球団、東北楽天ゴールデンイーグルスまた、福岡ソフトバンクホークスの2球団の誕生で2リーグ制が維持されることになった。

ただ昨年と大きく変わった点は、ファン重視の野球界になったことだ。キャンプでは昼休みに握手会やサイン会、毎日チーム情報の新聞が配布されるなど、今までにない企画が行われ、五月六月にはセ・パの交流戦が行われる事になった。これは、シーズン中及びストライキ時期のファンの野球への情熱が、選手及びフロントに届き、ファンあってのプロ野球ということを再認識したからではないかと思う。

私自身も建設業のプロとして働いている以上、現場での利益追求と共に、ファン＝顧客、住民の喜ぶ仕事ができるように、今年度もまた頑張りたいと思う。

●現場代理人の声

(株)河野建設
勝村　義貴

時の過ぎるのは早いもので入社して三十六年を迎えようとしています。もともと、私は建築大工一筋に働いて来た人間で、現場代理人は、三回目の経験ですが今回の町民いこいの家、あしがら温泉のような大きい現場は始めての経験です。現場代理人としてはまったくの素人当然の私です。何から手を付け、何をどうしたら良いのか、まったく解かりませんでしたが、良き同僚、良き所長達に助けられながら、工事を進める事が出来ました。

安全管理一つを取っても、現場の横を東名高速道路が走っており、仮囲いの塀が強風に煽られて道路に飛んで行かないか心配で、幾度となく補強工事も行いました。

良い建物を造るには、材料の品質もさる事ながら、現場内での人と人との和が一番大切な事だと思います。

建物一つを完成させると言う事が如何に大変で難しいかと言う事を今さらながらに思い知らされました。

人は苦労をして成長し、苦労する事に依りその苦労が後で身になり、良い思い出になって返って来ると思います。

今は現場代理人として良い経験をしたと思っています。

工事も無事終わり、町民いこいの家、あしがら温泉も、大勢の人でにぎわっている様で安心しております。

これからも頑張って会社の為、又自分の為に苦労したいと思います。

私の余暇 At one's leisure

(株)河西建設
勝又　公雄

専ら疲労快復

余暇の過し方は専ら疲労快復に当てている。敢えて回復でなく快復である。

私たちが激しい身体活動や精神活動をすると、心身の働きが鈍くなり、様々な活動の能率が低下し体力と気力が失われたと感じた時、これが疲労である。この状態が続くと疲労は蓄積され、慢性疲労に陥る。すると仕事の効果は下がるだけでなく、事故や病気の原因にもなる。

これらを防ぐために疲労回復を図らなければならない。疲労回復の三原則は休養と栄養と睡眠である。いずれも筋肉や血液中に増加した乳酸を分解させ、酸性に傾いた身体を中性に戻したり、筋肉中の減少したグリコーゲンを増加させエネルギー源を確保したりする。更に変化の現れた尿や自律神経の失調や血圧の調整能力の減少や心拍数の不整などを正常に戻す働きがある。そして、何よりも働く意欲が起こる明日のエネルギー源の蓄積と大脳の機能の回復が大切である。

その他の疲労回復方法に入浴とマッサージがある。いずれも血液循環を盛んにして新陳代謝を促進することで、脳や筋肉に栄養や酸素を供給し、身体組織の老廃物を尿中に排泄して疲労回復を図る。

しかし、私の疲労回復の方法は前出の様な全身を休める完全な休息の方法ではなく、普段と内容の異なった活動や普段と異なった部分を使う積極的疲労快復の方法である。この方法は脳や身体に適度な刺激を与えることで、身体活動を促進しストレスを解消させ、疲労の快復を図ることである。この方法は若い時から続けていることと活動を止めて休息するより、疲労の回復が速いように思われるからである。

私の積極的疲労快復を一言で言えば晴耕雨読である。

私の晴耕はスポーツと旅をすることである。最近はスポーツをすることはめっきり減り、お付き合い程度にゴルフをするくらいである。旅はこの3年間で国外へ3回、国内では北海道から九州まで時間と費用が許す限り、できるだけ出掛けている。旅は未だ見ぬ国や土地を直接訪れ、その土地の自然や文化、産業や経済など未知の世界を見聞することで、知見と豊かな心を養うことができる。時に長い旅は身体的に疲れることがあっても、明日のエネルギー源の大きな蓄積になり、私にとって疲労の快復にこれ以上効果があるものはない。

雨読は勿論本を読むことである。私の読書は乱読である。自宅の居間のテーブルの上や寝室のベッドの横、会社の机の上や持ち歩くカバンの中、車の中にも本を置いてあり、何時でも、何処でも手近に本を読めるようにしている。同時に数冊読んでいるときもあり、内容が混同することもある。本の中味は純文学書、歴史本、推理小説などこれまた雑多である。本の入手は新聞の新刊広告やぶらり本屋へ出掛け面白そうな本を見つけたりするが、裾野市役所の古本コーナーも時々出物があり、楽しい。読書は想像力を耕したり、思考力を培ったり、言語感等を磨いたり、表現力を豊かにしたり、高等な感性を高めたり、何よりも落ち着いた心を育ててくれる。時に眼精疲労に陥ったり、眼や脳が冴え過ぎたりして疲労の原因にもなりかねないが、私にとっては充実した時間を持てることで大きな疲労の快復になるものである。

余暇の時間の過ごし方は大変難しく、無駄な時間の過し方も大切であったりするが自分なりに充実した時間を過ごせることが、最も幸せではないかと思っている。

家族からみた父親像

(株)飯田建設工業
飯田こまち

お父さん

私のお父さんは、勉強を教えてくれる時は、少しきびしく、家族と遊ぶ時は優しいお父さんです。毎日夜おそくまで働いて、とても仕事を頑張ってます。時々変なことをしたり、ちょっかいを出したり、困ることもあるけどいざとなればたのもしい一家の大黒柱です。家族で一緒に食事をすることはあまりないので連休などに家族と一緒に出かけた時はとてもうれしく、楽しいです。

朝、おきるとき時々お父さんがトレーニングをしています。ふっきんやうで立てふせで毎日体をきたえてます。

お父さんは普段は楽しくて面白い人ですが、仕事になると凄い真剣な顔をして、一生懸命になっています。普段とは全然ちがっていてカッコイイなぁと思いました。

お父さんは私のつくえ、ベットなどを、いろいろな材料をくふうしてりっぱなのを作ってくれました。約五年たちましたが、ぜんぜんボロボロになっていません。

私のお父さんはスポーツもでき、大工もでき、いろいろなことができるので楽しいし、こんなお父さんがいてよかったです。これからも仕事をがんばってください。

私の大切にしているもの

大藤建設(株)
吉井敬二

最近、各紙面で「ストレス」という言葉を目にする機会が増えたように思います。

その「ストレス」が原因で、病気になったり、精神を侵される人が多くなってきているのも周知の事実だと思います。私が思うところ、仕事から離れた時の余暇の過ごし方で、「ストレス」をいかに消化できるかが、ある意味人生の是非も左右しかねないように思われます。

また、仕事をリタイアした時に、ふと気がつくと自分の周りに付き合いのできる「友人」といえる人がいない事に改めて孤独感を味わう人も多いと聞きます。私の場合、普段はほとんど意識した事はありませんが、元来の野球小僧からの発展で、私的時間の多くを過ごしているソフトボールを通じて「ストレス」の発散ができているのかなと思います。また、そこで多くの心通じ合える「仲間」に恵まれた事をとても幸せに思います。時には大声で笑い、時には泣き、たまには喧嘩もするけど本音で語り合える「仲間」、年齢差の垣根を飛び越えて付き合いのできる「仲間」が、数ある中の私の大切なもののベースであると思います。

人は、けっして一人では生きていけないと思うし、人生の折り返し地点を過ぎた今こそ、私の財産であるこのすばらしき「仲間」を大切にし、その輪を広げて行けたら……と思う今日、この頃です。

安全標語

◎安全・品質妥協なし　みんなで築く無災害
外木秀幸　臼幸産業(株)

◎災害は　人から　物から　油断から
城せき子　(株)和　太　組

俳句

聖五月森も鎮もる　　水谷美保子
文士の碑

砲声の木霊を返す　　森五月
薔薇園をそぞろ歩けば　　異国めく

短歌

恥らひを何処に忘れ来たりしか　　杉山孝子
少女は車内で細き眉ひく

霞立つ春の野面はねむたげに
蛙と鳥の鳴く音吸ひゆく

過ぎし日の哀しきことは濾過されて
記憶の底から薄れゆくなり

ペット紹介

(株)田代建設
田代　美希

我が家にはもうすぐ二歳になるわんぱく犬がいる。名前はムサシ。一応、凛々しく育って欲しいという思いを込めて「武蔵」と付けたつもりであったが、いつの間にか愛犬手帳には、カタカナで「ムサシ」となっていた。二歳になろうとする今、凛々しいというより、愛らしい、目の中に入れても痛くないと思えるのは、只単に私が親バカならぬ飼い主バカだからであろうか。

そもそもムサシが我が家に来ることになったのは、「どうしても柴犬が飼いたい」という子供達の強い要望からである。たまたま会社の人の親御さんが柴犬を飼っていてしかも、もうじき子犬が生まれるというタイミングであった。四匹生まれた子犬の中から一番コロコロしてかわいい子犬をもらった。当然散歩もえさも子供達の仕事のはずであったが、(わかりきったことではあったが)やはり私の仕事となっている。朝、子供達を送った後、ぼーっとしながら決まったコースを散歩するのだが、季節の移り変わりを感じながらムサシと歩くのはとても気持ちがいい。今年は特に雪が多かったので本当に楽しかった。(仕事柄、降雪で喜んではいけないのだが)「犬は喜び庭かけまわり…」の歌の通り、白銀の野山を全速力で走りまわる姿を見ていると私まで何だか楽しくなってきた。

私はムサシとの散歩やふかふかしたムサシの体に触ることで気持ちが穏やかになるような気がするのだが、私だけでなく家族全員が皆ムサシにいやされていると思う。主人は仕事から帰ってくるとまず一番最初にムサシと遊ぶ。母は、畑仕事から帰ってくるとムサシの傍らにある椅子に腰掛け、体を休める。子供達は学校から帰ってくるとムサシに話しかけ、制服が汚れるのも気にせずにじゃれ合う。

ムサシをかわいがっているつもりが、反対に家族みんなの気持ちを安らかにしてくれていたのだ。まさにドッグセラピーである。

「ムサシ!これからもよろしく!」

広場

岳南建設(株)
取締役安全技術部長
鈴木啓文

大寒も過ぎ、今年も、山野草や盆栽の植え替え時期がやってきました。

そうです、私の趣味は、30代からの山野草や盆栽の栽培です。私は、送電線建設工事に従事しておりましたので、全国の山間部での工事が多く、山に登る機会が多かったため、当然、自然に接する機会も多くなり、苦しい山登りの合間にきれいに咲く高山系山野草に魅せられたものです。各地には特有の山野草があり、近隣には専門店もあったため、気に入った山野草を購入して、たまに帰る自宅での栽培が始まりました。

私の自宅は、温暖な神奈川県小田原市ですが、集める物は高山系、北方系の栽培が難しい部類の物に興味があり、なんとか自宅で栽培できないかと、試行錯誤で始めました。最初は、全国のツツジ・石楠花収集に没頭し、何とか故郷の「富士砂」の多用により、鉢栽培ができるようになりましたが、次第に置場がなくなり地植えしてしまいました。今でも自宅で春先には満開に咲き乱れています。

しかし、棚が空になると寂しいもので、当時、九州の職人さんが送ってくれた「エビネ」に傾き、小遣いのほとんどを投入して、九州産の銘品を揃え、現在でも130鉢を栽培しております。その間、山野草全般、菊、雪割草と分野を次々と広げ、今は、老後?を考え「小品盆栽」へと移行しております。

休日のほとんどを山野草や盆栽への時間に費やしていますので、妻、子供からは白い目で見られていますが、孫には、この楽しみを教えてやろうと今からウキウキしているこのごろです。

私の趣味は、一人で没頭することができるため、仕事上のストレス解消には、もってこいであると自負しておりますが、最近は、範囲を広げすぎて、逆にストレスをためてしまうようです。

また、ご同好の方がいらっしゃいましたら、ご一報ください。趣味の情報交換や余剰株の交換など、趣味を楽しみましょう。

協会の動き

沼津建設業協会 通常総会(予算)の開催

(社)沼津建設業協会(会長渡邊康一)は、三月十一日(金)午後二時より沼津建設業会館大会議室において平成十六年度第二回通常総会を開催した。

議事等に先立ち渡邊協会長が挨拶し、時節の言葉を前述後『災害発生時に地方における我々建設業がいかにすばやく行動を起こし道路、河川を管理する国や県、自治体とともに復旧や二次災害の防止にどれほどの機動力を発揮できるかが、真に問われ求められているのは、紛れもない事実であり、そのためにも協会内、各地域のきめ細かい防災態勢を更に整え有事の際に備え、地域貢献の重要な柱とすべく協会としての連携体制を執るべきであると協会員全員の協力をお願いした。

また、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が本国会にて成立し四月より施行されるのを期に、現在の多様化し過ぎたとも言える入札制度や入札会場を本来の神聖かつ厳粛な場所等として再出発させ、真にその工事を受注する意欲と資質のある業者が何の疑いもなく社会的にも、透明性を持ち契約できる時代の訪れと可能性が出てきたので、この法案が単なる理念法で消え去るのではなく、次々と明確な具体的法律として普及し施行されるよう真剣に勉強し見守って生きたいと述べた。

そして最後に、会員各位の地道な努力のお陰で前年並みの収入予算が見込まれた御礼を表した上で、現状を踏まえ十七年度の事業計画予算を組み立て本総会に上程したが全般的に、更に経費面の切り詰めと見直しを行なって、今年度からの懸案の委員会、統廃合を検討し十八年度からの改革に向け準備を進める。』と結んだ。

引き続き、技術体験発表者等への表彰状等の伝達を行い議事に移った。

承認議案では、平成十七年度事業計画(案)、会費制度及び、収支予算(案)を審議し結果、何れも原案通り承認した。

また、建災防沼津分会(分会長渡邊康一)は、同日、同会場で午後三時より第二回通常総会を開いて、平成十七年度事業計画(案)及び、収支予算(案)を審議し結果、原案通り承認した。

合同、安全パトロールの実施

安全委員会(委員長高田弘之)は、二月十七日(木)午前九時より沼津労働基準監督署、静岡県沼津土木事務所の関係者並びに正副安全委員長等が参加し御殿場地区、沼津地区の合同安全パトロールを実施した。

パトロールは、総員十名の巡視チームを編成して平成十六年度東富士演習場周辺障害防止対策工事(一工区)御殿場地区外、沼津地区内三箇所の点検を行った。

木建協議会 全体会議の開催

沼津建築工業組合等、関係の十五団体で構成する沼津地区木造家屋建築工事安全協議会(委員長金澤清文)は、二月二十五日(金)午後二時より沼津建設業会館会議室にて第二回、全体会議を開き平成十六年度の活動状況報告、平成十七年度事業計画(案)並びに収支予算(案)を審議した。

審議の結果は、何れも原案の通り承認した。

事業計画で講習会は、「安全パトロール実施上の基礎知識研鑽」をテーマに開催することとなった。

レクリエーション大会開く

被災有無確認パト打合会開く

厚生委員会（委員長尾﨑敬治）は、二月三日㈭午前九時より裾野市内の東名カントリークラブにて会員十四名が参加し冬期レクリエーション大会を開催した。

結果は、次の通りであった。

順位	競技者名
優勝	鈴木　勇
準優勝	立道　芳弘
3位	植松　寧
4位	落合　孝佳
5位	尾崎　敬治
6位	樽林　武臣
7位	田代　雅夫
8位	小林　久夫
9位	関　知二
10位	畑　順一
10位	土佐谷和貴
12位	小野　安由
13位	芹澤　實作
14位	高村　和秀

災害対策特別委員会（委員長植松豊）は、三月一日㈫午前十時より沼津建設業会館会議室において静岡県沼津土木事務所の依頼による管内公共土木施設「被災有無確認の事前情報収集」パトロール業務の協力実施に係る事項の説明聴取と意見交換を行った。

これは、沼津土木事務所との災害協定対応による協力業務で当日は県、協会の双方から関係者十二名が出席し当局の金刺技監等から昨年十月、台風22号来襲時の災害情報収集対応を踏まえて、洪水警報発令時等における当該パトロール業務の主旨内容、実施時期の説明と協力の依頼があった。

また、同委員会は、三月三十日㈬午後二時より同会場にて、実効ある当該パトロール業務の実施組織編成のため委員会を開催し骨格を決めた。

地区だより

通常総会開催
御殿場市建設協会

御殿場市建設業協会（高杉周作会長）は、3月23日㈫午後一時三十分より御殿場建設会館において、建設業協会及び建設事業組合両者の通常総会を開催し、平成十七年度事業計画、同年度会費徴収制度、同年度予算に係る議案の審議を行い、結果いずれも原案通り承認した。

なお、平成十七年度は、『施工技術と経営の向上に努め、より良いものを創造し、明るく豊かな社会を築く為に、活動する』ことを重点目標に定めた。

お知らせ

「建設業のひろば」オープン

静岡県土木部は、平成十七年四月より当部のホームページ上に建設業の広場をオープンされました。

掲載種目は、経営事項審査・入札参加資格申請の日程等、入札・契約の結果、建設リサイクル関係、業界データ集、よくある質問など豊富な情報を11のカテゴリーに見やすく整理してあります。

（広報委員会）

静岡県土木部
http://www.pref.shizuoka.jp/doboku/doboku1.html

主要行事予定

◎県技術施工管理技士会総会
日時　5月17日(火)　13時30分～
会場　クーポール会館

◎静岡県建設業協会総会
日時　5月24日(火)　13時～
会場　アソシア

◎型枠支保工作業主任者講習会
日時　5月26日(木)～27日(金)
9時～
会場　沼建協
定員　80名

◎強化安全パトロール
日時　6月3日(金)　9時～
会場　(社)沼津協全管内

◎地山掘削作業主任者講習会
日時　6月23日(木)～24日(金)
8時30分～
会場　(社)沼津建設業協会3F
定員　80名

◎安全大会、祈願祭
日時　6月28日(火)　9時30分
会場　沼津市民文化センター

第17回 沼津建設業協会 写真コンクール

○佳　作　五点
・「氷結の水湖」
　臼井孝行　二葉建設(株)
・「夢のお手伝い」
　鈴木唯雄（読者）
・「白馬清澄」
　原　貞一（読者）
・「春うらら」
　三井　剛（読者）
・「夕彩色」
　渡辺晴美　小林建設(株)

佳　作「氷結の水湖」臼井孝行氏

佳　作「春うらら」三井　剛氏

佳　作「夢のお手伝い」鈴木唯雄氏

佳　作「夕彩色」渡辺晴美氏

佳　作「白馬清澄」原　貞一氏